

洲本市地域活性化起業人  
活動中間報告会

2025.10.31

# 地域活性化起業人 活動報告

---

洲本市地域活性化起業人 重乃 遼子

| 所属 企画情報部 企画課

---

# 目次

---

- 01 プロフィール
- 02 活動ミッション
- 03 活動の状況
- 04 活動実績まとめ
- 05 地域活性化起業人の意義・魅力と今後の活動
- 06 担当者からの一言



## 洲本市地域活性化起業人

重乃 遼子（しげの りょうこ）

所属：株式会社ワークアカデミー

滋賀県出身、大阪教育大学を卒業

兵庫県尼崎市と洲本市での2拠点生活

—2020.4

株式会社ワークアカデミーへ入社

産学・官学連携インターンシッププログラムの企画運営や、学生の資格・キャリア相談、大学への授業提案などを経験

—2023.11

洲本市地域活性化起業人として委嘱

（活動期間2年 ※2025.10.31現在）

洲本市での学びの場の創出をミッションに、域学連携の推進、島内企業の人材不足解消に向けた取り組みに携わる

## 学びたい人の誘致と教育プログラムの提供

出向元であるワークアカデミーの強みと地域の資源や魅力を活かし、活性化に繋がる学びの場を洲本市内に創出すること、地域内外での人材育成と交流、関係人口の拡大、それらの成果をローカルビジネスの創出に繋げることをミッションとしている。

2025.10 現在、以下の4つを活動とする（詳細は次ページへ）



AWAJISHIMA  
QUEST  
COLLEGE

#淡路島クエストカレッジ #インター  
ンシップ #就活 #実践型学習 #越境  
#挑戦 #地域活性化



まちのTera子屋

#デジタルとキャリアの駆け込み寺  
#本町商店街 #パソコンスマホ相談  
#キャリア相談 #スキルアップ

島の人事部

淡路島ではたらくいきる

#地域の人事部 #淡路島 #人材不足解  
決 #研修 #tオウンドメディア #採用  
#育成 #定着 #対話型ワークショップ

洲本実業高校  
探究授業・  
登壇トーク

#探究学習 #観光ビジネス #課題発見  
#魅力発見 #企業連携 #空き教室活用  
#ものづくり #キャリア講話

## 活動の状況①【淡路島クエストカレッジ】

冒険する「地域」と、冒険する「人」を育てる場所

淡路島クエストカレッジ



▲HPはこちら



AWAJISHIMA  
QUEST  
COLLEGE

10年間洲本市で続いてきた「域学連携」の次なる  
ステップを見据え、2023年4月よりスタート。

大学生や若手社会人を中心とした参加者と地域が、  
人や地域との繋がり、  
自身と地域の未来について考え方行動し、  
挑戦しつづける場。

自治体、島内外企業、大学と連携したプログラムや  
自主的なプログラムの設計、コーディネート、  
運営を行う。

# 活動の状況① 【淡路島クエストカレッジ】2024.11以降

年間92名参加

プログラム名	活動内容	参加大学	参加学生数
発信力を身につける、 インタビューライターへの挑戦！ 淡路島にある「森の木ファーム株式会社」の 事業を取材し、Web記事で魅力を発信しよう！ 2025.2-3	森の木ファーム株式会社の様々な事業を、担当者へインタビューし、WEB記事を作成。プロのライターさんから教わったコツを用いて、6つの記事を書き上げ、森の木ファーム公式HPにて公開した。	大手前大学、 武庫川女子大学	6名
龍谷大学政策学部スタディツアーエ in 淡路島洲本市 2025.6	竹でごはんを炊くチームミッションや、竹ボイラーの見学を行い、「放置竹林と里山、放置竹林と暮らし」について、自分ができるワンアクションを考えた。	龍谷大学	58名
2026年「馬博」に向けて認知向上をめざせ！ 馬をテーマにしたアートワークショップ・ 展示会の広報＆運営にチャレンジしよう！ 2025.5-9	2026年の午年に開催予定の馬博に向けた、アート展示。その展示会にて公開するアート作品をワークショップイベントにて制作。学生は展示会までのSNS広報、ワークショップ運営に携わった。	武庫川女子大学	6名
淡路島・洲本市を海外の人が 訪れたくなるまちへ！ 外国人観光客を地方に誘客せよ！ 2025.9-11（進行中）	淡路島や神戸にて、観光業関係者や外国人観光客にインタビューを行い、淡路島への訪問ならびにAwaji Journey Hubの利用を促進するための具体的なアイデアを考え、提案発表を行う。	大手前大学、関西外国语大学、京都大学、京都女子大学、 武庫川女子大学	22名

# 活動の状況①【淡路島クエストカレッジ】2025.2~3



## 森の木ファームプログラム

テーマ：発信力を身につける、インタビューライターへの挑戦！淡路島にある「森の木ファーム株式会社」の事業を取材し、Web記事で魅力を発信しよう！

事前学習

取材／ライ  
ティングレク  
チャー

現地取材

記事の執筆

最終発表

### 取材先（一例）



働かれている方の想いや現場の様子、森の木ファームで生み出された商品を扱っている企業の声を取材し、ライター指導の下、より多くの方に知ってもらうためのWeb記事を作成した。

# 学生が執筆した記事内容

6つの記事が森の木ファーム公式HPにて公開中



2025.5.22

0を1にする繋がりを！地域共生社会という視点から



2025.5.13

森の木ファームとの関わりを2つのストーリーで解説～淡路島のうずの丘とS BRICKの連携の力～



2025.5.8

就労継続支援B型の取り組み～森の木ファームの挑戦と支援の実際～

学生が執筆した記事はこちら



<https://morinoki-farm.com/column/>



2025.5.1

ここが僕の“第2の家”～淡路島の放課後ティーサービスで見つけた、子どもたちの笑顔と成長～



2025.4.28

森の木base 小さな社会の中で。～未来への学びを得る3ステップ～

# 03 活動の状況①【淡路島クエストカレッジ】2025.5~9



## シェアホースアイランドプログラム

テーマ：2026年「馬博」に向けて認知向上をめざせ！馬をテーマにしたアートワークショップ・展示会の広報＆運営にチャレンジしよう！



元洲本市地域おこし協力隊の山下勉さんとの連携。シェアホースアイランドの課題であったSNS発信に対し、6人で計19の投稿作成（シェアホースアイランドの魅力やイベント告知など）を行った。コンスタントにSNSを盛り上げることができ、フォロワー増加につながった。

## アートワークショップと展示会の様子



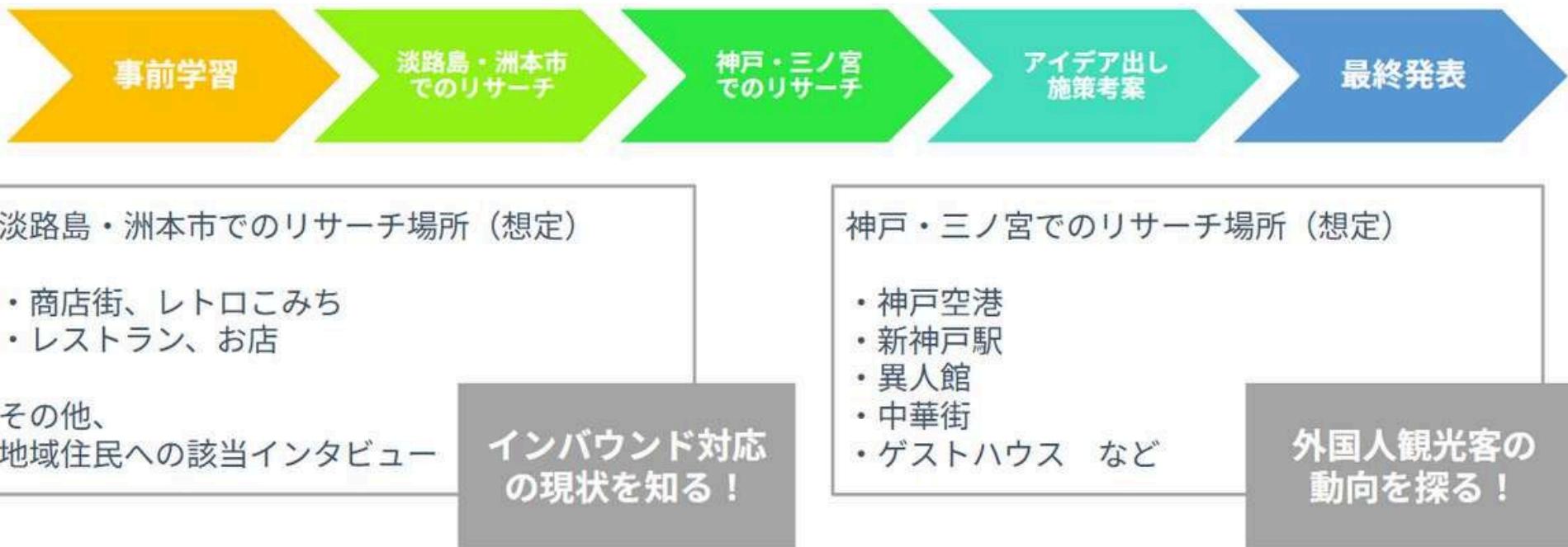
夏休み期間（8/6,7）に実施したアートワークショップには、2日間で約20名の子どもたちが参加。乗馬体験や馬との触れ合いを初めて行うご家族も多く、シェアホースアイランドの認知向上につながった。また、淡路文化会館で9月に開催された展示会では、ワークショップ内で制作した馬との共作アートを展示了。

# 03 活動の状況①【淡路島クエストカレッジ】2025.9~11



## インバウンドプログラム

テーマ：淡路島・洲本市を海外の人が訪れたくなるまちへ！神戸・三ノ宮でのリサーチ活動とインバウンド提案



昨年に引き続き、インバウンドテーマでは2回目のプログラム開催。今回は洲本現地での研修を1泊2日で行い、22名の学生が来島した。昨年度の参加生である学生が今年度はカレッジセンターとして携わってくれており、継続的な関わりが生まれていることは1つの成果である。

今後も継続的な関わりしろを創出すべく、次なる展開も考えていきたい。

## 洲本市フィールドワークの様子 (9/27~9/28)



淡路島観光協会 事務局長の福浦さんよりお話を伺い、淡路島の観光の現状や課題について知るところからスタート。観光客の8割は関西圏から、そしてその多くは淡路市への来訪であることを踏まえ、どのようなアプローチをすれば洲本市まで足を運んでもらえるかを考案した。最終提案発表は11/8(土)を予定。

# その他、域学連携での活動

## 武庫川女子大学インターン

10/8～12の5日間で、食創造科学科の学生5名を洲本市にて受け入れ。重乃もサポートを行った。菜の花エコプロジェクトをテーマに、菜の花の種まきから菜種油を用いたお菓子の製造・販売までを活動内で実施した。

10/9, 10の2日間は神戸大学付属小学校の子どもたちも市役所の仕事体験として合流し、販売に向けての準備や菜種油活用のアイデア出しを一緒に行った。



後半の2日間では、ひょうご楽市楽座への出店を行い、菜の花カステラを販売。2日間で200個以上のカステラを早々に売り切り、菜種油やなのはキーホルダーも完売となった。

学生5名は各人の強みを活かした役割分担を行い、活動。出店での完売時は達成感に溢れた様子だった。

## 活動の状況②【まちのTera子屋】



場所：

本町7丁目商店街「旧タケダ玩具店」

(洲本市本町7-3-14)

デジタルに関するお困りごと解決や、  
キャリアアップにつながる学びの場として  
週1日程度開室。

### デジタルとキャリアの駆け込み寺 「まちのTera子屋」

現在、デジタルの相談は谷岡さん中心に行って  
くれており、重乃是キャリア相談を中心に事前  
予約にて対応。

今後は島の人事部との連携も図り、スキルアッ  
プ～副業・兼業も含めた転就職の相談にも応じ  
たい。

Instagramにて  
情報発信中



## 活動の状況③ 【島の人事部】

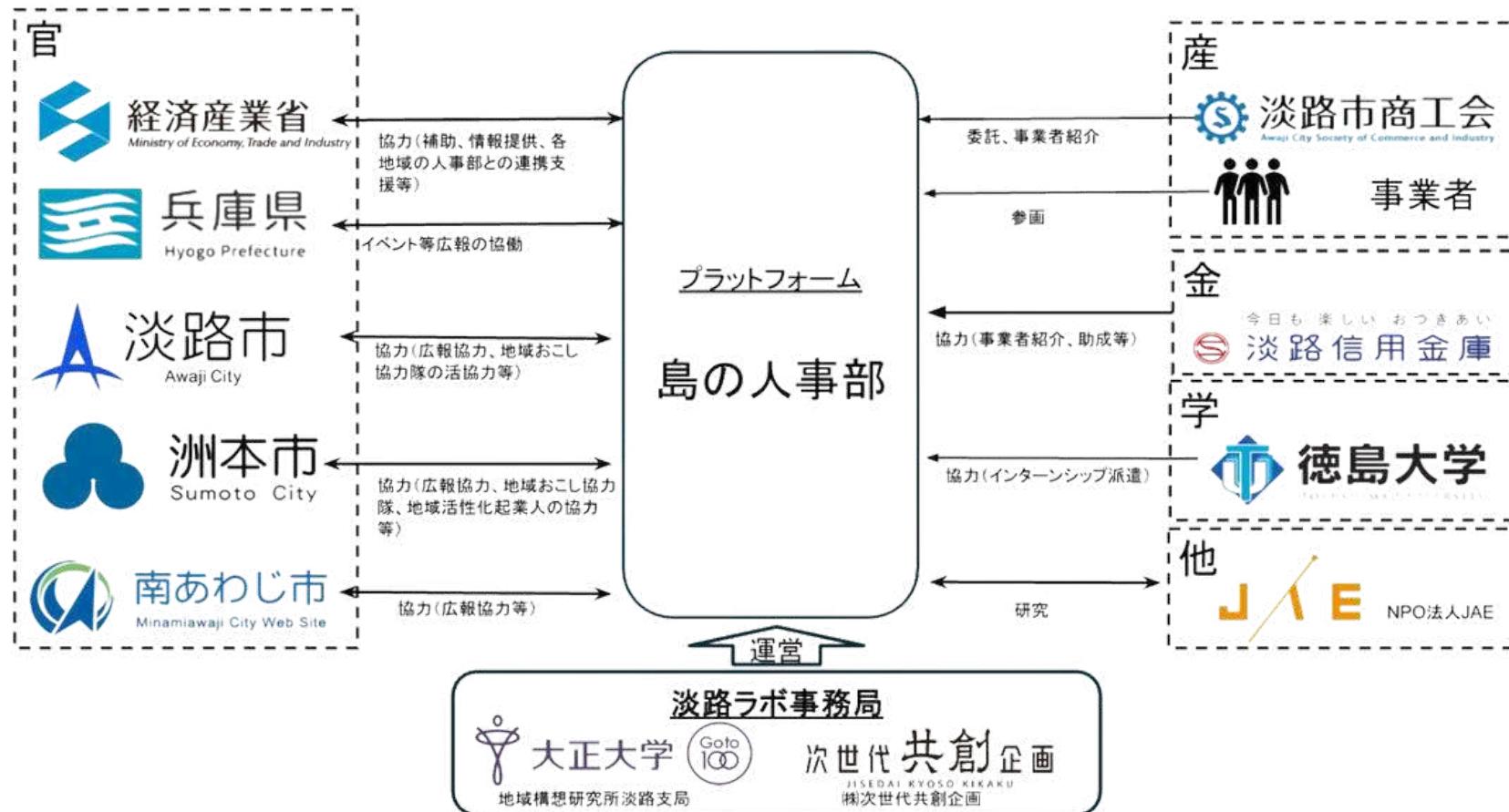
### 島の人事部

淡路島ではたらくいきる

淡路島を「ひとつの会社」と見立て、人材不足解決のための人を集めのではなく、  
”人が集まる”状態を目指し、淡路島の「人事部」機能を担っている。

- ✓ Uターン/Iターンしやすい環境づくり
- ✓ 地域の会社で働く人の育成
- ✓ 経営者のミギウデになるような若手人材の発掘や成長 など

※ 経済産業省「地域の人事部」補助採択事業



## 活動の状況③ 【島の人事部】

### 島の人事部

淡路島ではたらくいきる

島の人事部では、地域に根差した人材を**発掘・育成・定着**させることを目的とし、人材不足解決に向けた活動を行う。

具体的には左記3つを役割として担い、定期的な意見交換会の開催や、副業・兼業などのマッチング支援、淡く「人」に焦点をあてた発信（オウンドメディア）等を実施している。

Instagramも、ぜひ、  
フォローお願いします！



@SHIMA\_JINJI

マッチング・プロジェクト提案

コーディネーター

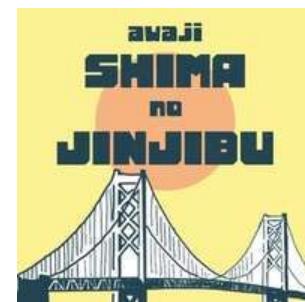
共育・学び合い

研修・ワークショップ

研究・広報・発信

オウンドメディア

▼noteにてメディア発信中



## 活動の状況③ 【島の人事部】

島の人事部

淡路島ではたらく いきる

### 経営者 (通年実施)

- ・意識変革の機会 (対話の時間)
- ・他者連携の機会 (持ち込み企画)



レポート



### 新入社員・若手社員 (4~6月実施)

- ・合同新人研修の機会提供
- ・意見交換会への参加



レポート



### 女性 (7~9月実施)

- ・持続可能なはたらきかたを考える
- ・自身の在り方について再定義



レポート



### CxO (11~1月実施)

- ・意識変革の機会 (対話の時間)
- ・実地研修の機会 (留職)

様々な方を対象に研修・WSを実施。地域企業社員の交流、発表・意見交換の機会提供、「働きやすさ」「働きがい」に関する新たな視点を獲得し、職場改善や地域の人材定着に繋げることを目的とする。

10/28(火) 洲本市×島の人事部

## 『はたらきがい』について考えるワークショップ in 洲本



市職員×民間企業、約30名が一堂に介する場にて、合同研修を実施した。

### 【参加者の声】

- ・多くの皆さんの一生懸命仕事している姿勢、思いなどを聞かせていただいて、とても勉強になりました。また、励みにもなりました。
- ・地元の方の積極的な姿勢に触れ、我々の事業も頑張らないといけないなと思いました。
- ・何気なく行なっていた業務も深く考えると色んな意味があって、色んなところに繋がっているという発見ができました。他の人の考え方を知れて、興味深かったです。

4~6月、9~11月の週に1回、外部講師として洲本実業高校の観光ビジネス授業を担当し、地域と高校をつなぐ役割、課題発見・企画立案へ伴走する役割を担当。

「淡路島に行ってみたい！」「知れてよかったです！」  
と思ってもらえるような観光目線でのプロジェクト  
をつくることがゴール



前期授業は、まちあるき・観光協会や観光に携わる事業者さんへのインタビューを実施。  
後期授業では、観光課題に対するチャレンジしてみたい改善案や、企画・サービスを考案する。



### 働くってどういうこと？～洲本実業高校での登壇トーク～

淡路島内外で活躍する経営者や社会人をゲストとして招き、「働くことのリアル」について語っていただく授業を実施。「大人になるって楽しそう」「働くって、案外面白いかも」と思えるような視点の転換を促すことを目的とする。



大阪大学の高大連携教育団体SUITさんと連携した授業としており、先生からも期待の声をいただいている。起業人としては、次年度も継続可能な形で、島の人事部参画企業との連携や、高大連携の橋渡しができるように努める。

# 10/27(月) 登壇トークの様子



7名のゲストに登壇いただき、座談会形式で実施

## 【高校生の声（一部抜粋）】

- ・信頼を取り戻すのはすごく難しいけれど、失うのは簡単という言葉が響きました。
- ・高校生のうちにやれることはやって将来の選択肢を増やすことが大事だと思いました。
- ・失敗を恐れて何もしないことが一番の失敗という言葉を聞いて、**やりたいことを叶えるため何でもしていきたい**と思いました。
- ・仕事が本当に好きなのが伝わってきて、**私も自分が好きだと思える仕事を選びたい**なと思いました。
- ・周りの評価を気にするのではなく、**自分がしたい選択を選ぶことが大切**だと学びました。

# 活動実績まとめ (KPI進捗)

地域活性化起業人 KPI (ワークアカデミー)		2024年度		2025年度 (10.31現在)	
		目標	結果 (3.31時点)	目標	結果
KGI	参加者数合計	158	92	188	176
	前年からの増減	—	—	30	84
KPI 項目	洲本での取り組み内容 (想定)	数字項目 (空白は参加学生数)		KPI (人)	
実践学習 (クエストカレッジ)	武庫川女子大学 経営学部と連携	75	30	75	23
カレッジサポーター (クエストカレッジ)	カレッジサポーター生の募集	5	応募6名 →2025年度稼働	10	3
龍谷大学 (クエストカレッジ)	龍谷大学スタディーツアー	48	48	48	58
新規 大学連携 (クエストカレッジ)	クエストカレッジ新規募集プログラム	0 (準備期)	11	10	5
域学連携	武庫川女子大学 食創造科学科と連携 菜種油プロジェクト	参加大学	7大学	4大学	
洲本実業高校	探究授業での関わり	10	3	10	5
	登壇トーク	10	2025年度観光ビジネスに携わる	20	12
島の人事部WS	新人研修、女性向け研修、CxO研修	10	2025年度島の人事部内で実施	15	13
	ワークショップ開催			6回	
その他の取り組み (社会人向け・市民向けなど)					
経産省 リスクリング	リスクリング講座の提供 & 就職支援	転職者数 (人)	0 (準備期)	0	1 0
	洲本企業にも説明会に参加してもらう	参加企業数	新規2社	—	新規2社
noa+	旧タケダ玩具店に常駐、学び講座を提供	受講者数 (人)	2	2	4 0
		市民への周知回数	3回	3回 (テレビ、広報紙、WEB記事)	3回

2024年度は参加学生KPIとしていたが、学生に限定しない関わりしろも増えたため、2025年度は創出した学び場に対する参加者数で集計。

**目標：188名の学び場創出KPIに対し、2025.10.31時点で【176名】が参加。  
(昨対比：+84名)**

## 05 地域活性化起業人の意義・魅力と今後の活動

洲本実業高校

島の人事部

淡路島クエストカレッジ

まちのTera子屋

教育機関とのつながりと経験・知見を活かしたプログラムの提供

ワークアカデミーでの個別相談・中小企業採用支援との結びつき

島内企業×海外人材のマッチング・育成・定着支援

島の人事部は淡路島全体の企業や行政をつなぐ地域プラットフォームとして、ワークアカデミーは海外大学や教育機関とのネットワークを活かし、現地学生とのマッチングや育成プログラムの設計を検討。起業人終了後も双方に協働することで、持続的な外国人材受け入れモデルを構築したい。